

正会員 26校5団体

エリザベト音楽大学
 近畿大学工学部
 呉工業高等専門学校
 県立広島大学
 山陽女子短期大学
 島根県立大学
 日本赤十字広島看護大学
 比治山大学
 比治山大学短期大学部
 広島経済大学
 広島工業大学
 広島国際学院大学
 広島国際学院大学自動車短期大学部
 広島国際大学
 広島修道大学
 広島女学院大学

広島市立大学
 広島大学
 広島都市学園大学
 広島文化学園大学
 広島文化学園短期大学
 広島文教女子大学
 福山大学
 福山平成大学
 安田女子大学
 安田女子短期大学
 広島県教育委員会
 広島市教育委員会
 呉市教育委員会
 福山市教育委員会
 広島県私立中学高等学校協会

準会員 2校

尾道市立大学 福山市立大学

賛助会員 60団体

紀伊國屋書店(中四国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協中国・四国事業連合 / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中四国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルートマーケティングパートナーズ / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 熊平製作所 / 合同総研 / 丸善雄松堂(広島支店) / 広島市信用組合 / 日建設計(中国支所) / 大日本印刷(情報イノベーション事業部中四国営業本部) / 西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトブキシーティング(中四国支店) / 近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店) / SMBC 日興証券(広島支店法人部法人課) / 広島管財 / アポアエンジニアリング / 呉信用金庫 / 中国電設工業 / A・I・C広島マネジメントシエラトングランドホテル広島 / ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校 / オオケン / ムロオシステムズ / 山菊印刷 / ワイテック / むさし / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN 事業部) / 中国放送 / マイティネット / パナソニック システムソリューションズ ジャパン / アンデルセン・パン生活文化研究所 / SCSK / 広告社(広島支社) / ゼネラルスチール / 三菱地所設計(広島事務所) / JTB(広島支店) / オカムラ(広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コクヨマーケティング(中国支社) / 酔心 / 田中電機工業 / アスティ / 大方工業所 /

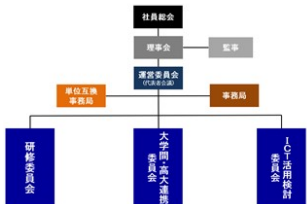
会費・参加費

基本会費 大学 22 万円(同一学校法人設置大学・短期大学 10 万円)短期大学 18 万円
 高等専門学校 10 万円・教育団体会費 10 万円、5 万円、3 万円
 規模別会費 学部学生数 1 人につき 60 円
 (短期大学、県外大学、福山市尾道市の大学、高等専門学校は免除)
 賛助会費 1 口 3 万円
 進会費 3 万円
 高大連携事業会費 1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

理事・監事

代表理事 焼廣 益秀 (広島国際大学学長)
 理事 青木 信之 (広島市立大学学長)
 理事 小谷 幸生 (広島経済大学学長)
 理事 越智 光夫 (広島大学学長)
 理事 川野 祐二 (エリザベト音楽大学学長)
 理事 河野 修興 (広島都市学園大学学長)
 理事 小山真理子 (日本赤十字広島看護大学学長)
 理事 瀬山 敏雄 (安田女子大学・安田女子短期大学学長)
 理事 田中 宏二 (広島文化学園大学・広島文化学園短期大学学長)
 理事 事 鶴 衛 (広島工業大学学長)
 理事 中村 健一 (県立広島大学学長)
 理事 野村 正人 (近畿大学工学部工学部長)
 理事 三上 貴教 (広島修道大学学長)
 理事 湊 晶子 (広島女学院大学学長)
 監事 石井 眞治 (比治山大学・比治山大学短期大学学長)
 監事 李木 経孝 (広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学学長)
 監事 森下 要治 (広島文教女子大学学長)

組織図



【2018. 6. 25 現在】

教育ネットワーク中国 —連携・協力・共助をめざして—

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高高等教育機関が連携・協力することにより、広島の高高等教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちにより多くの学習機会を提供することを目的として 1998 年に設立され(設立当初組織名: 広島県高高等教育機関等連絡協議会)、本年で 21 年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申し上げます。

教育ネットワーク中国の事業は大学・短期大学、地方公共団体、高等学校、企業など、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、会員の皆様の連携と協力、助け合いによって成り立っています。

設立から現在まで

- 1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 4. 1 広島県高高等教育機関等連絡協議会発足。
 広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30 の大学・短期大学が参加。事務局を広島県生涯学習センターに置く。
- 1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002. 4. 1 広島県高高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
- 2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。
- 11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
 6. 17 教職員研修会を開始。
- 2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始。
 教育ネットワーク中国設立 10 周年。
 9. 15 第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。
 (会場: 広島修道大学)
- 2008. 3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
 8. 20 文部科学省「戦略的連携支援事業」採択。(～2010 年度)
 12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009. 4. 1 南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。
 中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
 5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。(～2011 年度)
- 2011. 4. 1 一般社団法人登記(一般社団法人教育ネットワーク中国と改称)
 広島県留学生活躍支援センター設置。折りづるみこじ連参加。
 広島県留学生活躍支援センターをひろしま国際センターへ移管。
- 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
- 2013. 4. 9 広島県民文化センター5 階に開設されたサテライトキャンパスひろしまに単位互換科目・高大連携公開授業、公開講座・生涯学習講座を提供。
 4. 1 広島県教育委員会加盟。
 2015. 8. 7 シャレオ大学生コンサート開催。
- 2016. 4. 1 尾道市立大学、福山市立大学準会員加盟。
 2016. 9. 10 第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。
 (会場: エリザベト音楽大学、広島国際大学 広島キャンパス)
- 2017. 4. 1 一般社団法人教育ネットワーク中国設立 20 周年。
- 2018. 4. 1 福山大学、福山平成大学、福山市教育委員会加盟。

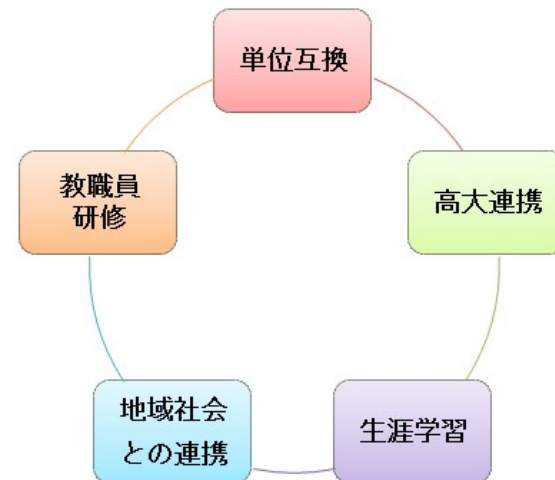


ロゴマーク

【コンセプト】
 教育ネットワーク中国の教育(education)のeとネットワークのn(Nの小文字)と中国のcを基に制作しました。小文字nをその形から橋のイメージを意図したフィクション、ノンフィクション問わず橋を大勢の人々が協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。
 その橋の左の卵形をしたeから何か新しいものが生まれ渡りていくようなイメージです。設立10周年記念の公募で選定しました。



**一般社団法人
 教育ネットワーク中国
 2018**



〒730-0803
 広島市中区広瀬北町 9-3
 広島修道大学インターナショナルハウス内
 TEL: 082-533-7590 FAX: 082-533-7591
 E-mail: office@enica.jp URL: http://www.enica.jp/

単位互換事業

自大学に開講されていない授業科目や学びたい他大学の授業科目を受講することを目的としている。

単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。

2000年度から「ボランティア活動」（マツダ財団寄付講義）を開始。

2003年度から大学院単位互換を9大学14研究科30専攻が参加して開始。

2005年度から教職課程科目の提供を始める。

2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」（中国新聞社寄付講義）を開始。

2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。

2010年度から後期提供科目の追加募集を始める。

2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

特色ある科目

- * 中国新聞寄付講義 広島国際大学「現代社会を考える I」
- * マツダ財団寄付講義 広島女学院大学「ライフキャリア特別講義 I a」
- * サテライト科目（学外研修（IoT・AI時代のものづくり発信力）ほか）
- * 教職課程科目 エリザベト音楽大学「教育原理」
- * 広域型単位互換科目（南大阪地域大学コンソーシアム「キャリアと社会」・「高野山で学ぶキャリアとわたし」）

履修者数

	包括協定校 24校 ※広域型単位互換2校を含む			
	1999年度	2015年度	2016年度	2017年度
提供科目数	86科目 →	227科目	241科目	247科目
①延べ履修者数	213人 →	110人	145人	86人
②実質履修者数	164人 →	70人	114人	69人

高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。提供科目は公開授業（大学の正規の科目）と公開講座（高校生のための科目）から構成されている。

経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。

2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。

2003年度から広島大学附属高校と高大連携協定を締結し153校となる。

2005年度から岩国地区の高校と高大連携協定を締結し157校となる。7月18日以降に開講される授業、講座の二次募集を開始。

高大連携委員会の設置。高大連携研究交流会の開催。

三原尾道地区で高大連携公開講座を開催。

2007年度からは備北地区3会場で大高連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講。

2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。

2009年度から高大連携遠隔授業を中山間地区の高校と実施。

2014年度からサテライトキャンパスで「大学フェアひろしま」を開催。

広島県教育委員会と高大連携協定締結。（新制度）

2015年12月に広島大学附属福山高校と高大連携協定締結。

2016年12月に岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定締結。

開講年度	公開授業 (申込者数)		公開講座 (申込者数)		科目等履修 ※公開授業に含む	
2002年	92講座	157人	24講座	153人		
	↓	↓	↓	↓		
2007年	120	201	78	1,299	23講座	27人
2016年	61	30	120	1,329	15	6
2017年	60	26	113	1,397	14	1

大学へ行こうウィーク

おおむね7月31日～10日の間に開講される授業、講座を、「大学へ行こうウィーク」としてチラシを作成し広報。

[2017年度：公開授業3大学3科目・公開講座16大学4短大59科目]



備北地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

中大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

- ・7月の金または土曜日に開催（三次地区・庄原地区・安芸高田地区）
- ・中学3年生も受講可能な科目
- ・キャリア講座「大学卒業後の進路講座」



高大連携遠隔授業

・大学と高校をインターネット回線で結び双方向の授業を実施。

[実施大学：広島経済大学、広島修道大学・実施校：三次高校、庄原格致高校]

<備北地域実施状況>

開講年度	中大連携公開講座 (受講者数)		高大連携遠隔授業 (延べ受講者数)	
2007年	56講座	1,302人		
2009年	63講座	1,564人	13講座	353人
2016年	58講座	1,283人	4講座	109人
2017年	62講座	1,320人	4講座	108人

高大連携研究交流会

高校と大学の連携を促進するために2005年より開催。

「アクティブ・ラーナー育成の課題と展望～高大接続時代を迎えて～」

[2017年度参加者：高校関係7人、大学関係（会員校）169人、その他10人、合計186人]

生涯学習事業

経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開講。

2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開講。

2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。

2003年度から講座情報をホームページで公開。

2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。

2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン（講座情報）配信開始。

2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。

2014年度より「ばれっとカレッジ」を休止、サテライトキャンパスを会場とする「サテライトカレッジ」を開講。

ひろしまカレッジ

IC受講証を活用し、受講受付・受講履歴の確認



メールマガジン（講座情報）配信

[登録者数 約335人・配信数15]

2017年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③		④	計
			教師像	研修会		
登録者数	535	347	141	527	1,539	3,089
延べ受講者数	1,438	1,495	624	514	2,229	6,300

①シティカレッジ11(44) ※広島市・(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部と共催

②サテライトカレッジ8(61) ※サテライトキャンパスひろしまで開催

③エニカカレッジ これからの教師像1(5) 研修会6(6)

④大学で開講する公開講座12(32) 合計38(148)

ICカード受講証を活用していない講座を含む。()内はコマ数を表す。

地域社会との連携

中国新聞キャンパスリポーター制度

- ・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材して、中国新聞紙面「キャンパスリポーター発」やHPサイトに投稿。
- ・地元企業のトップなどへのインタビュー記事「学生リポーターが聞く」
- ・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施。
- ・年間を通して優秀な学生を表彰（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）
- ・中国新聞キャンパスリポーター交流会の開催。



[2017年度新規登録17校69人、在籍者数18校143人]

ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」



平和の祭典ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」パレードに参加

[2018年度5大学 交換留学生を含む72人参加]



広島市中心から元気を発信しよう！ 「大学競宴！シャレオ大学生コンサート」

「広島の大学生の歌声や演奏で広島の街を盛り上げたい！」学生たちによる合同コンサートをシャレオ中央広場で開催

[2015年5校で開始、2016年度より9校参加]

ひろしま地域カード連携コンソーシアム 2012年4月6日設立

中国新聞社・PASPY運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国（幹事会員）各種カードの連携による地域活性化に向けて活動及び会員向け勉強会を開催。

教職員研修

	2006年度	2009年度	2016年度	2017年度
講座数	7講座 →	5講座 →	5講座	6講座
参加者数	385人 →	386人 →	459人	514人

日程	2016年度 教職員研修会 テーマ	参加数
第1回 5/20(土)	新入および概ね入職3年以下以下の事務職員を対象とした集合研修 「つながり〜共に創る魅力的な大学」 講演：「大学の未来を創る人たちへ〜大学漂流時代の環境を考える〜」 ・グループワーク	37
第2回 9/2(土)	「大学入試改革とアクティブラーニング」	53
第3回 9/8(金)	「アクティブ・ラーニングの効果検証」 ※比治山大学・同短期大学部との共催	91
第4回 11/18(土)	「日本の奨学金制度を考える〜経済的支援から中退予防まで〜」 ※学行政管理学会地区研究会との共催 講演：「学修支援制度の課題〜中退と家計急変への対応を中心として〜」 ・グループディスカッション	26
第5回 3/5(月)	「ルーブリックの効果的な活用方法」 ※比治山大学・同短期大学部との共催	121
第6回 3/8(木)	アクティブ・ラーナー育成の課題と展望～高大接続時代を迎えて～ ※県立広島大学・高大連携研究交流会との共催 基調講演：「高大接続改革とアクティブラーニング〜その背景と今後の方向性について〜」 ・事業報告 ・全体討議：「アクティブ・ラーナー育成の課題と展望」	186

[2017年度 21会員校404人、他大学ほか110人、計514人]